

ばい煙発生施設設置(使用・変更)届出書

年 月 日

徳島県知事 殿

届出者

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

徳島県生活環境保全条例第8条第1項(第9条第1項・第10条第1項)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理 年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類		※ 施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり。	※ 審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※ 備考	
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。		

- 備考 1 「ばい煙発生施設の種類」の欄には、徳島県生活環境保全条例別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

## ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規       模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )		
	バーナー燃料の燃焼能力 (重油換算 l/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )		
	電流量 (KA)		
ポンプの動力 (KW)			

- 備考 1 設置届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 「規模」の欄には、徳島県生活環境保全条例別表第2に掲げる施設の種類ごとにそれぞれの規模の欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入すること。

## ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号						
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月		時～時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動					
原 材 料 (ばい煙の 発生に影響 のあるもの に限る。)	種 類					
	使 用 割 合					
	原 材 料 中 の 成 分 割 合 (%)	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分 カド分	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分 カド分	
	1 日 の 使 用 量					
燃 料 又 は 電 力	種 類					
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	いおう分	灰分	いおう分	
	発 熱 量					
	通常の使用量 (ℓ/h)					
排 出 ガ ス 量 (Nm <sup>3</sup> /h)	混 焼 割 合	湿り	最大	通常	最大	通常
		乾き	最大	通常	最大	通常
排 出 ガ ス 温 度 (℃)						
排 出 ガ ス 中 の 酸 素 濃 度 (%)						
ば い 煙 の 濃 度	ば い じ ん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	い お う 酸 化 物 (容量比ppm)	最大	通常	最大	通常	
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	塩 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	塩 化 水 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	弗素, 弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	クロム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
窒 素 酸 化 物 (容量比ppm)	最大	通常	最大	通常		
ば い 煙 量	い お う 酸 化 物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常	最大	通常	
参 考 事 項						

- 備考 1 「原材料中の成分割合 (%)」の欄及び「燃料中の成分割合 (%)」の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 「ばい煙の濃度」は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 「ばい煙の濃度」は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、「参考事項」の欄に一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場 又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場 又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大		
		通常		
	排出ガス温度(°C)	処理前		
		処理後		
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		いおう酸化物 (容量比 ppm)	処理前	
			処理後	
		カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		弗素、弗化水素及び 弗化珪素(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	クロム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
窒素酸化物 (容量比 ppm)	処理前			
	処理後			
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大 処理前		
		最大 処理後		
		通常 処理前		
		通常 処理後		
捕集効率 (%)	ばいじん			
	いおう酸化物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩素			
	塩化水素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
	鉛及びその化合物			
	クロム及びその化合物			
窒素酸化物				
使用状況	1日の使用時間 及び月使用日数等 季節変動		時～時 時間/回/日 日/月 時間/回/日 日/月	
	排出口の実高さ H <sub>o</sub> (m)			
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)				
排出速度 (m/s)				

- 備考 1 設置届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 「ばい煙の濃度」は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 「補正された排出口の高さ H<sub>e</sub> (m)」は、徳島県生活環境保全条例別表第 9 の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

## ばい煙発生施設設置（使用・変更）届出書添付書類

<p>1. ばい煙の排出の方法並びにばい煙の発生及び処理に係る操業の系統の概要</p>	
<p>2. ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置場所</p>	
<p>3. 煙道の排出ガス測定用の箇所</p>	
<p>4. 緊急連絡用の電話番号及び緊急時の連絡方法</p>	

1. ばい煙の排出の方法については、例えば煙突から排出している、排出口がなく窓から直接大気中に排出している等がわかるように模式的に図示すること。ばい煙がばい煙発生施設から煙突を経て大気中に排出される途中、サイクロン・ファン等により排出ガス量、温度、いおう酸化物量及びばい煙濃度（いおう酸化物・ばいじん・窒素酸化物等）のいずれかが変化する場合は、その変化の状況を明示すること。排出ガス測定口の位置を図示し、煙突の高さ・口径・断面積を記載すること。
2. ばい煙発生施設処理施設の設置場所は、工場又は事業場内における設置場所を図示し、工場又は事業場付近見取図も添付すること。
3. 煙道の排出ガス測定用の場所は、足場等付近の状況を含め図示すること。